

## アンケートによる産学連携技術シーズ発掘に関する効果

清水谷 卓（広島大学産学連携センター 国際・産学連携部門）

## はじめに

産学連携センターは、発足以来、本学が有する研究シーズの発掘や国内の企業との共同研究の推進に携わってきたが、当センターの働きかけにより契約が成就された共同研究数は、本学全体の共同研究数の3割弱に留まっている。一方、平成20年度より「戦略展開プログラム（国際的な産学官連携活動の推進）」に本学が採択されたことにより、国際産学官連携に興味のある研究者の発掘の必要性も生じている。そこで、主に以下の2つの目的で、工学研究科の研究者を対象にアンケート調査を実施した。

（目的1）技術シーズデータベース「ひまわり」に掲載する技術シーズの発掘

（目的2）国際産学連携を含む産学連携活動に対して協力可能な研究者の発掘

## 実施方法

## 1) アンケートデザイン：

主目的の2つに加え、新たに3つ副目的を設定し、アンケートを設計した（図1）。

## 2) 帰属欄の設定：

各目的に対応できるように、回答者の帰属欄において、以下の項目を設けた。

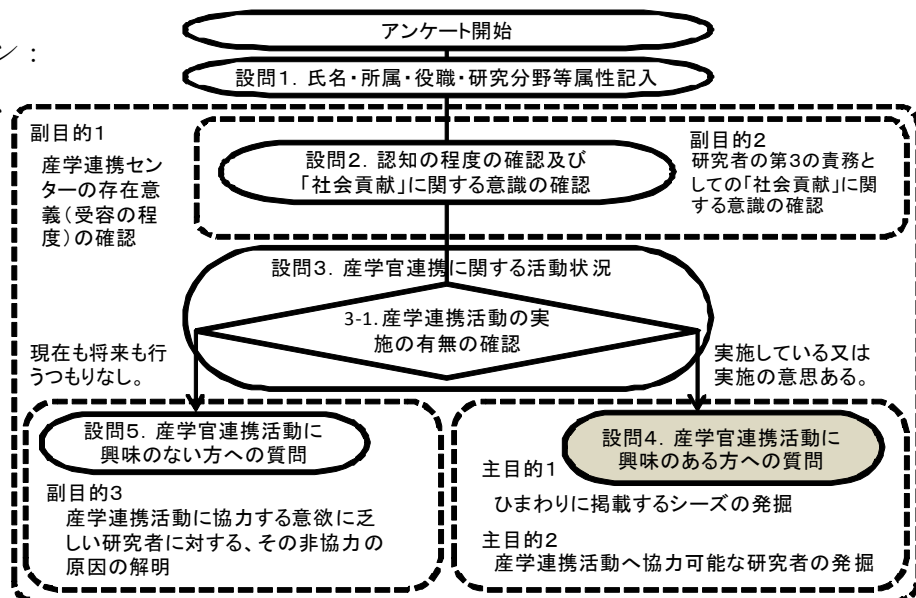


図1. 主目的および副目的に基づくアンケートデザイン

- ◇ 所属：研究室単位まで記述
- ◇ 役職：教授、準教授、助手、研究員、講師、など
- ◇ 任期：パーマネント、テンポラリー（任期：3年以内または3年以上5年以内）
- ◇ 指導学生の有無（有の場合は、人数を明記する）

## 3) 実施スケジュール：

回答率を高めるために、事前に工学研究科教授会にて、約10分間の事前説明会を行った。具体的な実施時期は以下の通りであった。

- ◇ アンケートの配布：2009年9月17日
- ◇ アンケート回収：2009年10月1日
- ◇ アンケート回収終了：2009年11月6日

## 結果

アンケート結果の概要は以下の通りであった。

- 1) 配付数：205 件
- 2) 回収数：131 件
- 3) 回収率：64%（11月6日現在）
- 4) 「ひまわり」への登録に興味あり(未登録の方)：55 件
- 5) (ひまわりへの登録をすでに行っており) さらに登録したいシーズを持っている：16 件
- 6) 国際産学連携に関して興味のある方：41 件（内訳：大いに興味あり：16 件、どちらかというに興味あり：25 件）

## 考察

アンケートの回収率が 60%を超える高いものとなった。この原因は、日々、産学連携活動に携わる機会の多い工学研究科を対象にしたことも考えられるが、教授会における事前の説明会の機会を設けたことが大きいと推測された。

また、本調査により、産学連携活動に協力的な研究者を新たに発掘できたことにより、今後、それらの研究への産学連携コーディネータが接触することになり、産学連携の営業活動の範囲を広げることに寄与することも示唆された。

## 結論

アンケート調査は、産学連携に興味のある研究者の発掘および技術データベース「ひまわり」への登録のための技術シーズの発掘に大いに効果があった。教授会での事前説明による事前の認知活動などの工夫により回収率を上げることができた。産学連携センターに配属しているコーディネータの活動に関して、コーディネータの活動の斑を改善するためにも、アンケート調査の手法は意義のあることが示唆された。